







アクリルタワシはすぐれもの



アクリルタワシを使えば、洗ざいをへらせるというのはほんとうかな。小学校4年生の友だちが研究し、2009年度堺市りかてん理科展で発表した作品をしょうかいします。

6種類しゅるいの毛糸を用意して、筆箱ふでばこに30回まいて作った玉で、油のとれ方をしらべました。

	ポリエステル	100%	6回
	アクリル	100%	21回
	ナイロン	100%	13回
	ウール	100%	3回
	<small>めん</small> 綿60% アクリル40%		8回
	アクリル82% リネン18%		3回

(おさらにごま油を小さじ1ばいたらして、水でぬらした毛糸の玉でぬぐう。指でぬぐって油がとれていたら、同じことをくり返し、ぬぐえた回数を記録した。)

アクリルがよごれをおとすわけをしらべました

☆ 百科事典でわかったこと ☆

アクリル毛糸は、石炭や石油が原料。アクリロニトルが主成分で、もっとも軽いせんいの1つ。薬品に強く、虫にくわれない。セーター、はだぎ、ぬいぐるみなどに使われる。

とても細かいせんいの集まりでできていて、1本1本に、かどが立ったみぞがある。このせんいでよごれをかき落とす。

☆ 毛糸屋さんで聞いたこと ☆

夏は綿や麻などの夏糸、冬は冬糸、ウール（毛）がよく売れる。たわし、ざぶとん、ぬいぐるみに使われるアクリル毛糸は一年中売れる。

思ったこと

洗ざいなしでお皿を洗えるタワシなんてないと思っていたけれど、実験してほんとうにあったのでびっくりしました。



本やパソコンで調べていろいろなことがわかりました。お店の人に聞いて、タワシやぬいぐるみにも使われていて感心しました。

今は、アクリルタワシを作って、食器を洗っています。

☆ **アクリルタワシの作りかた**

アクリル 100%の毛糸を用意します。

あみかたは、かぎ針あみや指あみなど、形も色も自由にくふうできます。



作り方がのっている本がたくさんあります

♥ **考えよう・調べよう** ♥

Q ほかにも水をよごさず、手があれない洗いものやよごれ落としの方法ほうほうがあります。調べてみましょう。